



UNITED BUSINESS ASSOCIATIONS

くまもとUBA

フロンティアウェーブ開催レポート

平成30年9月22日（土）、23日（日）の二日間、くまもとUBAフロンティアウェーブ事業として、流通情報会館にて開催された「あきんど!? 流団まつり」に下記の3青年部が出店しましたのでご報告します。

★熊本県電気工事協同組合青年部

熊本県電気工事協同組合青年部のブースでは、小学生を対象としたLEDランプの工作教室が行われました。工作教室は順番待ちが出るほどの大人気で、完成したLEDランプを手にした子どもたちには素敵な笑顔がみられました。



1日目



★熊本県弁護士協同組合青年部

熊本県弁護士協同組合青年部のコーナーでは、無料法律相談と書籍の販売がなされました。日頃抱いていた事柄について弁護士から直接アドバイスをもらえるチャンスもあり、多くの方が相談に訪れました。相談を終えた方はみなスッキリとした表情でブースを後にされました。

★熊本県電機商工組合青年部

熊本県電機商工組合青年部は、省エネ家電普及のためのPR活動に取り組みられました。従来の電球1つとLED電球4つでは、なんと従来の電球1つの方が電力を多く消費していることなど、ブースに訪れた方々には発見が多かったようで非常に驚いた様子でした。また、家電に関する様々な相談も対応されていました。



2日目



★流団平成会

流団まつりといえば流団平成会。今回のフロンティアウェーブ出店の際にも色々とお世話になりました。そんな皆さんは屋外会場にて冷たいビールを販売されました。用意されていたビールは完売されたとのこと。炎天下の中お疲れ様でした。

番外編

一般社団法人熊本県産業資源循環協会青年部会 “こうさ環境フェア2018”において 環境出前講座を開催

平成30年9月22日（土）上益城郡甲佐町にて開催された“こうさ環境フェア2018”において、一般社団法人熊本県産業資源循環協会青年部会が環境出前講座を行われました。

青年部会では、子供たちに身の回りの「ごみ（廃棄物）」に関心をもってもらい、地域の環境保全につなげることを目的に平成25年から県内の小学校で環境出前講座を実施されています。平成28年度からはこの活動が熊本県環境学習プログラムとして位置づけられ、熊本県義務教育課と連携して実施されるようになりました。

今回初となる“こうさ環境フェア”とのコラボレーションは、これまでの環境出前講座の実績に注目した甲佐町が青年部会にオファーするかたちで実現しました。

今回の講座は野原浩史部会長（㈲オー・エス収集センター）をはじめ、部会員8名、事務局2名で取り組まれ、「リサイクルのゆくえ」と題し、参加者に自分たちの生活の振り返りや、環境保全のためにできることを考えてもらうという内容で進められました。



県内の不法投棄の現状の紹介や、実際のゴミを使用した分別作業のチャレンジなど、充実した内容で、参加された子供から大人まで熱心に学ばれていたそうです。

また、講座の締めくくりとして、参加者全員で葉っぱ型のカードに今回学んだことを振り返って感じたことや、今後取り組みたいこと等について記入し、「約束の木」を完成させました。

熊本県産業資源循環協会は平成28年度に「くまもと環境賞部門賞」、平成29年度には環境大臣表彰の「環境保全功労者表彰」、「循環型社会形成推進功労者表彰」等多数の表彰を受賞されてこられました。これには、青年部会の環境出前講座が多方面から高い評価を受けていることも大きく影響しているのではないのでしょうか。

青年部会では、今後も環境学習に取り組みたい地域や小学校などに赴き、積極的に環境出前講座を実施していきたいと考えておられます。これからも、出前講座をはじめとする取り組みを通して環境保全に貢献されることを期待しています。

